

八王子市

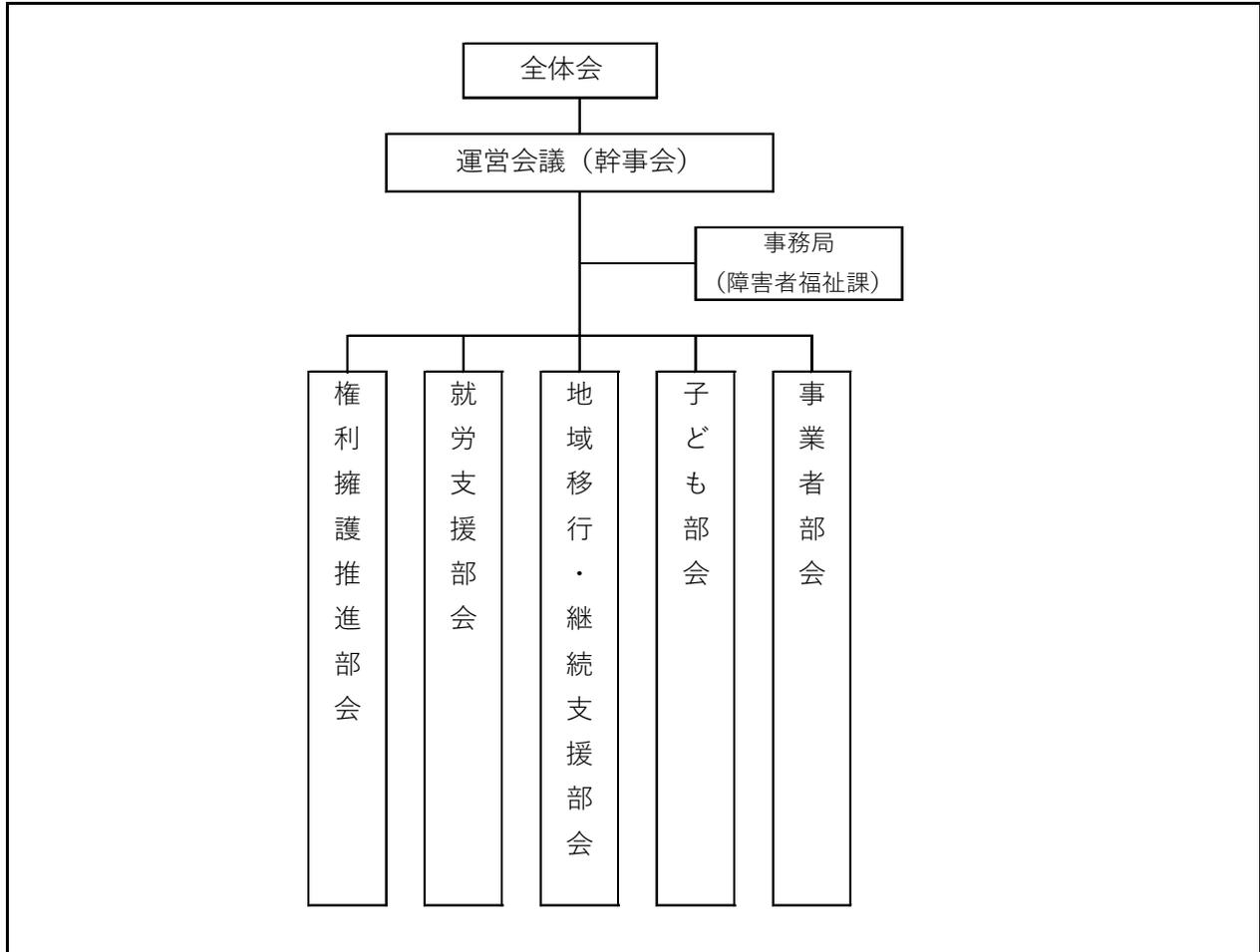
【名称】 八王子市障害者地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/welfare/005/014/a7539516/p014190.html>

【設置年月】 平成23年3月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	5	18	15	39	18

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	平成28年4月	面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
あり	令和2年11月

(2) 自立支援協議会への日中サービス支援型共同援助に関する事業報告・評価状況

設けている

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
4	26 (7)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
権利擁護推進部会	3	13 (4)
地域移行・継続支援部会	5	15 (2)
就労支援部会	2	10 (0)
子ども部会	3	18 (1)
事業者部会	0	7 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

（１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	1
障害当事者・家族・関係団体	7	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	4
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	3	行政職員（区市町村）	0
行政職員（都）	0	その他	0		
合計	26				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	中西 正司	生活支援センター ぴあ・らいふ	障害当事者・家族・関係団体	
2	副会長	矢嶋 里絵	東京都立大学 人文社会学部教授	学識経験者	
3		塚田 芳昭	相談支援センター サポート南多摩	相談支援事業者	
4		松尾 隆司	地域生活支援室 高尾	相談支援事業者	
5		八町 真理子	地域生活支援センター あくせす	相談支援事業者	
6		風間 美代子	相談支援センター 待夢	相談支援事業者	
7		三木 英子	若駒ライフサポート	障害福祉サービス等事業者	
8		石井 宏典	八王子いちょうの会いちょう工房ぎんなんの家	障害福祉サービス等事業者	
9		有賀 豊	マインドはちおうじ（リサイクルさかくさ）	障害福祉サービス等事業者	
10		久保田 美幸	恩方育成園	障害福祉サービス等事業者	
11		氏平 啓子	就労・生活支援センター ふらん	雇用関係機関	
12		土居 幸仁	八王子ワークセンター	障害福祉サービス等事業者	
13		多田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会	障害当事者・家族・関係団体	
14		宮川 純	八王子視覚障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
15		宮本 一郎	八王子市聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
16		田丸 俊彦	レストランあさかわ	障害当事者・家族・関係団体	
17		福井 優	多摩草むらの会	障害当事者・家族・関係団体	
18		恒川 礼子	筋無力症患者会	障害当事者・家族・関係団体	
19		渡邊 洋子	八王子市保健所長	保健所	
20		井上 美保	東京都立八王子西特別支援学校 校長	教育関係機関	
21		元井 康正	八王子市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	
22		井出 勲	八王子市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
23		尾川 幸次	八王子市町会自治会連合会	地域住民	
24		池田 ヒロミ	八王子商工会議所	企業	
25		木村 尚	公募市民	地域住民	
26		多和田 隆	公募市民	地域住民	

(2) 活動内容

権利擁護推進部会、就労支援部会、地域移行・継続支援部会、子ども部会、事業者部会の5部会を設置し、様々な分野の方々と連携して障害者が本人の意向に基づいた必要な支援を受け、自立した生活を営むことができる社会を構築するための協議を行うとともに、障害者計画及び障害福祉計画、障害児福祉計画の進行管理と評価を行っている。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	部会名	権利擁護推進部会	地域移行・継続支援部会	就労支援部会	子ども部会	事業者部会
学識経験者		0	0	0	0	0
医療関係者		0	2	1	2	0
保健所		0	1	0	1	0
教育関係機関		0	0	2	1	0
雇用関係機関		0	0	3	0	0
企業		1	0	1	0	0
障害当事者・家族・関係団体		4	2	0	1	0
身体・知的障害者相談員		0	0	0	0	0
相談支援事業者		5	7	0	1	0
障害福祉サービス等事業者		2	2	3	4	7
社会福祉協議会		1	0	0	0	0
法曹関係者		0	0	0	0	0
民生委員・児童委員		0	0	0	0	0
地域住民		0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)		0	1	0	8	0
行政職員(都)		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
計		13	15	10	18	7

(2) 活動内容

部会名	活動内容
権利擁護推進部会	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の基本理念に基づき、障害のある人への理解を深める取組や差別をなくすための取組を協議実施する。 ・イベントの開催 ・障害理解のガイドブック作成 ・施設従事者向け虐待防止研修の実施 など
地域移行・継続支援部会	障害者が施設入所や病院（入院）から、地域に移行し自立した生活を送り、かつ安心して暮らせるようその支援について協議する。 ・地域生活支援拠点事業の実施に係る連絡、調整、協議 ・精神障害者の地域移行個別支援 ・障害福祉サービス事業所の課題の抽出、連携など質の向上に係る活動等
就労支援部会	地域での障害者雇用、就労支援の現状把握、課題整理 ・企業での雇用管理、障害への理解促進 ・教育の現場、学校卒業生の就労支援 ・働く当事者の就業生活、生活設計 ・福祉サービスの利用 ・各所連絡会・研修会の開催 など
子ども部会	地域で暮らす障害児の保護者が安心して暮らせる環境や将来自立した生活が送れるような切れ目ない支援に関する現状把握、課題整理、情報共有。

部会名	活動内容
事業者部会	利用者支援・事業運営等、事業者間での意見交換や研修、課題検討等を行う。部会にぶら下がっている「日中活動支援事業所連絡会」、「グループホーム連絡会」及び「相談支援事業者連絡会」の3連絡会の活動が主であり、部会ではそれぞれの情報共有を行う。

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること

事業所部会のワーキンググループとして相談支援事業所連絡会を設置し、相談支援の在り方や情報交換、事例検討等を行っている。

② 就労支援に関すること

地域における障害者雇用及び就労支援の現状を把握、整理するとともに、学校卒業生への就労支援など自立支援への取り組みを進めている。

③ 地域移行・地域定着支援に関すること

障害者の高齢化・重度化や「親なき後」を見据え、既存の福祉制度や障害福祉サービスにはない様々な支援を切れ目なく提供し、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるようにするための方法について検討を行っている。

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

地域移行個別支援会議を部会のワーキンググループとして位置づけ、困難事例を含めた地域移行に関する検討を行っている。

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

各部会の検討内容に合わせ、民間事業者、医療・保健・教育・保育などの関係機関とネットワークを構築し、課題解決等に向けた検討・協議を行っている。

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

障害者差別や虐待について、個々の事例検討や障害理解に関する啓発活動などを行っている。市条例に基づき、事業者への障害理解への働きかけの手法の検討を行っている。

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点については、平成28年度から運用を開始しており、現在はその活用方法や、さらに円滑な運営方法に関して協議を行っている。

⑩ 障害福祉計画等に関すること

毎年、障害福祉計画・障害者福祉計画・障害児福祉計画のPDCAの一環として、各計画の進捗状況に関するモニタリングを行っている。

⑪ 地域自立支援協議会の運営に関すること

幹事会として運営会議を設置し、協議会の運営や議題に関する協議を行っている。

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

協議会全体会においては、各部会からの報告に合わせ、情報交換・共有を図っている。合わせて、有益な情報については、様々なツールを活用し情報発信も行っている。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

各部会の検討内容に合わせ、民間事業者、医療・保健・教育・保育などの関係機関とネットワークを構築している。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

協議会では、障害福祉関係だけでなく、医療、保健、教育、保育などの分野の方が参加していることから、各分野の社会資源の共有化を図るとともに、各分野制度の狭間にある課題の抽出も行っている。

⑤ 地域課題の整理

各部会において、地域課題を調査・抽出し、整理を行っている。

⑥ 課題解決に向けての検討

障害者計画への反映等、課題解決に向けて様々な検討を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

毎年、障害福祉計画・障害者福祉計画・障害児福祉計画のPDCAの一環として、各計画の進捗状況に関するモニタリングを行っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

事業者部会にぶら下がっている連絡会において、市内事業者間の様々な課題の検討、情報交換や研修を行っている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

障害者差別や虐待について、個々の事例検討や障害理解に関する啓発活動などを行っている。また、事業者を対象とする虐待防止研修や、市職員等を対象とする障害理解のための研修を実施している。

3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援事業所連絡会において、情報共有や事例検討を行った。

③ 権利擁護・虐待防止

障害理解を進めるため「障害者サポーター養成講座」開催準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため未実施となった。

④ 高齢福祉分野との連携

生活介護事業者をはじめ、様々な分野で高齢化が課題となっており、研修等引き続き取り組んでいく。

⑥ 緊急・災害等対応

自立支援協議会地域移行継続支援部会が編集した「障害がある方のための防災マニュアル」「災害時障害者サポートマニュアル」の改訂に向けた準備を進めた。

⑦ 医療的ケア

令和2年4月1日から開始された、在宅レスパイト事業の活動状況の報告を行った。
また、コロナ禍での対応についてのアンケート調査と報告を行った。

⑧ 障害児支援

児童通所支援事業所を複数事業所利用している方が多い。しかし、事業所ごとで支援方法が異なるため、事業所向けの情報共有の場を設けることで、事業所同士の横の繋がりを築いていこうと試みていたが、コロナ禍で延期になっている状況。

⑨ 教育支援

コロナ禍で部会自体がなかなか運営できなかったこと、他の課題が優先度が高かったことより、今年度は取り組んでいない。

⑩ 地域移行・地域定着支援

地域移行の取り組みとして、病院訪問ピアサポーター活動を実施し、コロナ禍ではあったがサポーターからのビデオ配信などを通じて、地域移行を促進する取り組みを継続して行った。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

それぞれの特性に応じた会議進行に配慮しており、様々な障害種別の方に参加いただいているため、多様な意見を伺える貴重な機会であるものの、協議会自体が肥大化している。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

障害福祉サービス等事業者や相談支援事業者等、様々な障害種別の方を支援している民間事業者に加え行政職員からも委員を選出している。
地域で生活する多様な当事者と日々接する中で伺っている情報を共有し、声を吸いあげる体制を整えている。